



2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年3月14日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6630 URL <https://www.ya-man.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 貴三代
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第3四半期の連結業績(2024年5月1日~2025年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	19,033	△25.7	817	△55.8	594	△71.3	1,124	△3.0
2024年4月期第3四半期	25,604	△27.6	1,848	△67.6	2,071	△62.0	1,159	△67.6

(注) 包括利益 2025年4月期第3四半期 1,671百万円(43.2%) 2024年4月期第3四半期 1,167百万円(△67.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	20.44	—
2024年4月期第3四半期	21.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	30,148	26,290	87.2
2024年4月期	29,090	25,113	86.3

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 26,290百万円 2024年4月期 25,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	4.25	—	4.75	9.00
2025年4月期	—	4.25	—	—	—
2025年4月期(予想)	—	—	—	4.75	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年4月期の連結業績予想(2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△21.9	900	116.2	600	△40.6	1,100	176.2	19.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2025年3月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社forty-four、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年4月期3Q	58,348,880株	2024年4月期	58,348,880株
2025年4月期3Q	3,327,698株	2024年4月期	3,327,668株
2025年4月期3Q	55,021,191株	2024年4月期3Q	55,021,212株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2025年3月14日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境や小売販売額に改善が見られる等、緩やかに景気回復となりました。しかしながら、引き続き世界的な資源価格や原材料価格の高止まりは継続し、円安の進行、物価高騰に伴う消費者の購買意欲の変化等経済の先行きは不透明感を拭えないままとなっております。

このような状況の下、当社グループでは、2023年6月に策定した中期経営計画「Going Global Strategy」に掲げた2028年4月期の「売上高700億円」の達成に向けて、研究開発や海外への投資を行いながら、通販・店販・直販・海外における各販路の最適化を図ってまいりました。

国内では、2024年8月に連結子会社化した株式会社forty-fourで、美容健康機器の新商品の販売を開始いたしました。また、2024年12月に、銀座旗艦店での単月売上が、過去最高を記録いたしました。海外では、2025年1月に、当社として初の中東進出となるサウジアラビアでの展開を開始しました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、海外部門で、中国国内の化粧品市場全体の低迷の影響を受けたことや、国内部門で、直販でのコロナ禍後の外出型消費傾向の影響を受けたこと及び引き続き最大限の利益を確保するために広告投資を抑制した結果、国内商戦期における売上の引き上げが未達になったこと等から、売上高は19,033百万円(前年同四半期比25.7%減)と前年同四半期を下回りました。広告宣伝費等コスト抑制を図りましたが、売上高の減少に加え、円安による仕入価格の上昇による影響等から、営業利益は817百万円(前年同四半期比55.8%減)、経常利益は594百万円(前年同四半期比71.3%減)と前年同四半期に及びませんでした。当期に係会社株式売却益961百万円を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,124百万円(前年同四半期比3.0%減)と前年同四半期を下回りました。

なお、当第3四半期連結会計期間(2024年11月~2025年1月)は、国内の直販部門については、グループ化したforty-four社においてインフォーマーシャル強化策を進めました。その結果、広告投資抑制による売上への影響はあったものの来期以降に向けたグループでの直販部門の成長に期待できる体制構築が整いました。

海外については、中国国内において、積極的にシステム構築や認知度向上に向けた先行投資を進めた結果、独身の日イベントにも初めて参加し顕著な結果を得ることができ、来期以降の更なる成長に向けた準備が整いました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、地上波テレビ通販及びショッピング専門チャンネルが振るわなかったことから、売上高は2,761百万円(前年同四半期比10.9%減)となりました。一方、広告宣伝費等の費用を削減したことにより、セグメント利益は837百万円(前年同四半期比10.4%増)となりました。

② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、2023年11月にオープンした銀座旗艦店や百貨店及び家電量販店を中心に売上が堅調であったことから、売上高は6,115百万円(前年同四半期比5.3%増)、セグメント利益は1,439百万円(前年同四半期比69.8%増)となりました。

③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、コロナ禍後の外出型消費傾向が影響を受けたことや、引き続き利益を確保するために広告投資を抑制した結果、売上高は5,014百万円(前年同四半期比28.1%減)、セグメント利益は1,371百万円(前年同四半期比36.7%減)となりました。

④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、世界最大規模のネットセールス期間として知られる11月11日「独身の日」において、中国最大の総合ECプラットフォーム「Tmall」内の美容機器部門の販売実績で1位を獲得したものの、中国国内の化粧品市場の低迷を受け、売上高は4,263百万円（前年同四半期比55.4%減）、セグメント利益は1,238百万円（前年同四半期比67.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,058百万円増加し、30,148百万円となりました。現金及び預金の増加764百万円を上回る受取手形、売掛金及び契約資産の減少949百万円がありましたが、貸倒引当金の減少980百万円及びのれんの増加651百万円等により増加しました。

負債は前連結会計年度末に比べ117百万円減少し、3,858百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加533百万円がありましたが、持分法適用に伴う負債の減少735百万円等により減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,176百万円増加し、26,290百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,124百万円及び剰余金の配当495百万円による利益剰余金の増加629百万円に加え、その他有価証券評価差額金の増加525百万円等により増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降につきましては、国内では、2024年12月に銀座旗艦店が過去最高売上を更新したことや、家電量販店などお客様と直接接する販路が堅調であったことから、旗艦店・百貨店を中心に、顧客サービスの充実と新製品のローンチを軸として、売上の伸長を目指してまいります。

また、当期において子会社化したforty-four社を通じて、インフォーマーシャルによる新規商材の販売を加速させてまいります。

その他、これまで進出できなかった販路を機動的に開拓すべく、専任の営業組織を発足させており、新規販路開発にも積極的に取り組んでまいります。

海外では、Tiktok、Red Bookといった販路での直接販売に対する投資を強化していくほか、ベトナムやサウジアラビアといった新規進出国を中心に、展開の強化を図ってまいります。

また、既存展開国につきましても、取り組み方を見直し、販売の挺入れを図ってまいります。

なお、通期業績予想につきましては、2025年3月14日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、見直しを行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,605	17,369
受取手形、売掛金及び契約資産	4,834	3,884
商品及び製品	2,956	2,926
仕掛品	22	173
原材料及び貯蔵品	1,077	905
未収入金	506	382
未収還付法人税等	101	347
その他	892	348
貸倒引当金	△980	—
流動資産合計	26,016	26,338
固定資産		
有形固定資産	899	792
無形固定資産		
のれん	—	651
その他	690	662
無形固定資産合計	690	1,313
投資その他の資産		
投資有価証券	300	1,058
関係会社株式	107	179
その他	1,075	466
投資その他の資産合計	1,483	1,704
固定資産合計	3,073	3,810
資産合計	29,090	30,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	782	1,316
1年内返済予定の長期借入金	606	332
未払金	1,122	920
未払法人税等	18	14
賞与引当金	122	51
その他	475	784
流動負債合計	3,127	3,419
固定負債		
長期借入金	100	428
持分法適用に伴う負債	735	—
その他	14	10
固定負債合計	849	438
負債合計	3,976	3,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813	1,813
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	24,688	25,317
自己株式	△2,887	△2,887
株主資本合計	25,047	25,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	525
為替換算調整勘定	66	88
その他の包括利益累計額合計	66	613
純資産合計	25,113	26,290
負債純資産合計	29,090	30,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
売上高	25,604	19,033
売上原価	9,943	8,120
売上総利益	15,661	10,912
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	7,137	4,448
貸倒引当金繰入額	—	△980
給料及び手当	1,071	1,185
賞与引当金繰入額	55	51
減価償却費	147	151
のれん償却額	—	59
研究開発費	774	652
その他	4,627	4,525
販売費及び一般管理費合計	13,813	10,095
営業利益	1,848	817
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	12	21
為替差益	706	—
その他	3	27
営業外収益合計	722	51
営業外費用		
支払利息	11	9
支払保証料	3	3
為替差損	—	86
持分法による投資損失	476	158
その他	7	16
営業外費用合計	499	274
経常利益	2,071	594
特別利益		
関係会社株式売却益	—	961
特別利益合計	—	961
特別損失		
固定資産除却損	25	58
特別損失合計	25	58
税金等調整前四半期純利益	2,045	1,497
法人税等	886	372
四半期純利益	1,159	1,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,159	1,124

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	1,159	1,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	525
為替換算調整勘定	31	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	34
その他の包括利益合計	7	547
四半期包括利益	1,167	1,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,167	1,671
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、株式会社forty-fourの全株式を取得して連結子会社化したため、連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であったMACHERIE BEAUTY TECHNOLOGY CO., LTD.の全持分を譲渡したことに伴い、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	3,098	5,810	6,971	9,554	25,434	170	25,604	—	25,604
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	3,098	5,810	6,971	9,554	25,434	170	25,604	—	25,604
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,098	5,810	6,971	9,554	25,434	170	25,604	—	25,604
セグメント 利益	758	847	2,167	3,837	7,611	106	7,717	△5,869	1,848

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△5,869百万円には、セグメント間取引消去23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,893百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	2,761	6,115	5,014	4,263	18,155	877	19,033	—	19,033
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	2,761	6,115	5,014	4,263	18,155	877	19,033	—	19,033
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	389	389	△389	—
計	2,761	6,115	5,014	4,263	18,155	1,266	19,422	△389	19,033
セグメント 利益	837	1,439	1,371	1,238	4,887	46	4,933	△4,116	817

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、株式会社 forty-four等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△4,116百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	283百万円	339百万円
のれん	－百万円	59百万円